

論文

子どもの群れ遊びと運動能力、行動特性、養育態度との関係について
～教師・保護者間の行動特性評価の差異に関する一考察～

Correlations between children's group play and their exercise capacity, behavioral traits and parental attitudes towards child rearing: A study on differences of teachers - parents in children's behavior characteristics

長谷川 勝 一*

キーワード：群れ遊び、運動能力、行動特性、養育態度、親子関係診断

研究の目的

古来より、家庭や地域内で、「この指止まれ」から始まる、三々五々に群れて遊ぶ「伝承遊び」と呼ばれる群れ遊びが子どもたちの遊びの中心であり、子どもたちの発達を総合的に促していた。しかしながら、少子化や生活環境の変化を原因として、現在では家庭内や地域内での「群れ遊び」「伝承遊び」が消失しつつあり、その中で、遊べない、遊ばない、遊ぼうとしない子どもの増加が指摘されて久しい。

こうした背景をもとに、保育園・幼稚園での群れ遊びに注目し、園内での自由遊びとして群れ遊びの導入・推進への取り組みを行った。また、先行研究として、群れ遊び活動と子どもの発達的相关性を目に見える形で明らかにした。

この結果を受けて、先行研究では取り上げなかった年中児も対象として広げ、保護者の養育態度および保護者が評価した行動特性をモデルの分析に加えることで、より深みのあるモデル構築を行うことを目的に、複数年のデータを蓄積して分析を行うこととした。

今回の研究では、保護者を対象とした親子関係診断

検査から得た、保護者が評価した子どもの行動特性について、教師が評価した行動特性との評価点の差異が子どもの運動能力評価や群れ遊び調査結果と関連性があることがみとれたため、その分析と考察について報告する。

研究方法

研究対象：岡山県北部T市内の私立幼稚園の年中児（4歳児クラス）・年長児（5歳児クラス）延べ405名。このうち有効な標本対象となったのは399名。この内訳を示したものが表1である。

調査時期：平成24（2012）年11月、平成25（2013）年6月、平成26（2014）年6月にかけて3回の調査を実施した。

調査項目：生年月日、性別、身長、体重、20メートル走、立ち幅跳び、硬式テニスボール投げ、行動特性調査（14項目）、群れ遊びに関する質問紙調査（19項目）、IB式MP親子関係診断検査（35項目）。

表1 調査対象園児の調査年度別、学年別、性別の内訳

Table with 14 columns: 測定年, 2012年 (年中児, 年長児), 2013年 (年中児, 年長児), 2014年 (年中児, 年長児), 合計. Rows include 学年, 性別, 標本数, 有効標本数.

* 美作大学

調査方法：体格測定項目の身長・体重と、運動能力測定項目の20メートル走、立ち幅跳び、硬式テニスボール投げについては原田の測定法^{1,3)}により測定を行なった。行動特性調査は原田の調査用紙を、群れ遊びに関する質問紙調査は先行研究から自作したもの⁶⁾を使用し、園児の担任にそれぞれの調査用紙を配布して、園児一人ひとりに対する回答を依頼した。親子関係診断検査については、保護者に調査用紙を配布して、園児に対する回答を依頼し、回収した。

研究の手続き：体格と運動能力の評価点は原田の重回帰評価法^{1,4),1,5)}を用い、身長は月齢による重回帰評価を、体型および走、跳、投の運動能力項目は月齢と身長による重回帰評価を、それぞれ-3から+3の7段階の評価点として算出した。その上で、走、跳、投の各評価点を合計し、「運動能力合計点」とした。運動能力合計点をもとに全国平均との比較から、優秀、やや優秀、普通、やや劣る、劣る、の5段階評価に換算し、これを「運動能力評価点」とした。

行動特性は原田の判定図^{1,6)}にしたがい、平均型、行動型、ひっそり型、がんばり型、がんばり不足型の5類型に分類するのが一般的であるが、今回は先行研究^{1,1),1,2)}と同じく、14項目のうち所定の7項目ずつからA得点(がんばり指数)、B得点(ほがらか指数)を算出し、量的変数として扱った。行動特性の結果を運動能力に加味したものを、極めて優秀、健康、平均、やや要注意、要注意、の5段階評価に換算し、「総合評価点」として算出した。

群れ遊びに関する質問紙の調査項目⁶⁾の回答は、園内での自由遊び中での子どもの様子に関するもの(18項目)については「当てはまらないもの」から「よく当てはまるもの」までの5段階とし、順位変数としてそれぞれ1から5の数値に変換した。「いつもよく遊ぶ友達の数は平均して何人ですか?」の設問については、「0人」から「5人以上」の6段階とした。いずれの項目についても、「不明」の回答選択肢を設け、「不明」の回答があった場合には欠損値の扱いとした。

親子関係診断検査の回答は、保護者が評価した子ど

もの行動特性については、所定の判定方法^{1,7)}にしたがい、いきいき型、ひっそり型、がんばり型、ほがらか型の4類型にそれぞれ類型化するのが一般的であるが、先行研究^{1,2)}と同じく、今回は、H得点(ほがらか指数)、G得点(がんばり指数)を算出し、量的変数として扱った。

教師による行動特性調査から得られるA得点、B得点と、保護者による親子関係診断検査から得られるH得点、G得点については、「がんばり指数」「ほがらか指数」という観点から同じ指数(尺度)として扱うことが可能であるため、今回の研究ではA得点からG得点を引いた得点(教師A得点-保護者G得点)と、B得点に補正值として3点を追加し、その値からH得点を引いた得点(教師B得点-保護者H得点)をそれぞれ算出した^{1,2)}。「教師A得点-保護者G得点」と「教師B得点-保護者H得点」について、教師よりも保護者の得点が3点以上高かったものを「1群(教師<保護者)」とし、反対に保護者より教師の得点が3点以上高かったものを「3群(教師>保護者)」、その中間にあたるものを「2群(教師=保護者)」とした。

なお、2012年度に調査を行った年中児と2013年度に調査を行った年長児、同じく2013年度の年中児と2014年度の年長児の子どもは、大半が同一の園児であるが、先行研究^{1,2)}での検討に基づき、年齢(学年)別で分析を行うこととしたので、今回のデータではそれぞれの統計においてデータは独立しているものとして扱った。また、同じく先行研究^{1,2)}により、性別での検討は不要とした。

統計上の有意水準はいずれも両側検定で5%とした。群間の比較については、Kuraskal-Wallisの順位和検定を用いて検討し、対比較はBonferroniの方法によった。

結果と考察

調査により得られた園児の、月齢、運動能力関連の評価点、行動特性評価点、親子関係診断検査の結果について、学年別に標本数、平均値、標準偏差、最小値、最大値等を一覧にまとめたものが表2である。

また、群れ遊び調査（質問1から質問19まで）についても同様に結果を年齢別にまとめたものが表3である。

と「教師B得点－保護者H得点」のそれぞれの群間で運動能力、健康度、総合評価、群れ遊び調査の結果の比較を行ったものが表4、表5である。

この結果をもとに、「教師A得点－保護者G得点」

表2 年齢別の月齢、運動能力関連評価点、行動特性評価点、親子関係診断検査の結果

項目	年中児										年長児									
	標本数	平均値	分散	標準偏差	変動係数	総和	最小値	最大値	歪度	尖度	標本数	平均値	分散	標準偏差	変動係数	総和	最小値	最大値	歪度	尖度
月齢	201	57.687	18.893	4.324	7.495	11595	50	69	0.137	-0.721	198	69.702	18.320	4.280	6.141	13801	61	79	0.094	-0.729
運動能力合計点	201	-0.766	4.866	2.206	0.000	-154	-8	6	-0.161	0.272	198	-1.505	6.008	2.451	0.000	-298	-8	5	-0.121	-0.176
運動能力評価点	201	2.816	0.299	0.547	19.433	566	1	5	-0.440	2.096	198	2.692	0.395	0.628	23.347	533	1	4	-0.751	0.664
総合評価点	201	2.776	0.572	0.756	27.238	558	1	4	-0.639	0.351	198	2.859	0.435	0.659	23.060	566	1	5	-0.581	2.161
行動特性A得点	201	8.796	10.152	3.186	36.224	1768	1	14	-0.344	-0.880	198	10.485	7.664	2.768	26.404	2076	1	14	-0.802	0.066
行動特性B得点	201	6.478	8.031	2.834	43.748	1302	-1	11	-0.353	-0.650	198	7.258	7.727	2.780	38.300	1437	-1	11	-0.619	-0.020
行動特性C得点	201	12.368	2.432	1.559	12.688	2486	6	14	-1.128	1.938	198	12.091	3.285	1.812	14.989	2394	3	14	-1.754	5.428
行動特性D得点	201	7.652	12.874	3.588	46.891	1538	0	14	-0.342	-0.742	198	7.818	13.533	3.679	47.053	1548	0	14	-0.274	-0.806
教師A-保護者G得点	201	1.144	17.825	4.222	368.963	230	-9	12	0.040	-0.253	198	2.667	15.232	3.903	146.357	528	-10	13	-0.083	-0.053
教師H-保護者H得点	201	-2.891	6.690	3.113	0.000	-581	-11	4	-0.293	-0.288	198	-1.833	8.684	2.947	0.000	-363	-11	7	-0.373	0.349

表3 年齢別の群れ遊び調査の各質問項目の結果

項目	年中児										年長児									
	標本数	平均値	分散	標準偏差	変動係数	総和	最小値	最大値	歪度	尖度	標本数	平均値	分散	標準偏差	変動係数	総和	最小値	最大値	歪度	尖度
質1 外遊びが好き	201	3.876	1.422	1.193	30.772	779	1	5	-0.886	-0.127	198	3.909	1.194	1.093	27.950	774	1	5	-0.935	0.213
質2 遊ぶ友達はいつも同じである	201	4.104	0.790	0.889	21.656	825	1	5	-1.183	1.530	198	4.030	0.747	0.864	21.438	798	1	5	-1.045	1.416
質3 ルールが明確な遊びを好む	201	3.050	1.102	1.050	34.421	613	1	5	-0.357	-0.561	198	3.485	0.937	0.968	27.772	690	1	5	-0.358	0.110
質4 チームで協力する遊びを好む	201	2.567	0.962	0.981	38.304	516	1	5	0.192	-0.561	198	3.273	1.057	1.028	31.413	648	1	5	-0.396	-0.041
質5 友達との意思の疎通が難しい	201	2.398	1.185	1.089	45.393	482	1	5	0.482	-0.549	198	2.540	1.289	1.135	44.687	503	1	5	0.242	-0.855
質6 友達と遊ぶのが好き	201	4.343	0.604	0.777	17.887	873	1	5	-1.380	2.668	198	4.293	0.460	0.678	15.793	850	2	5	-0.631	0.092
質7 内遊びが好き	201	3.448	1.043	1.021	29.625	693	1	5	-0.643	-0.165	198	3.086	0.967	0.984	31.873	611	1	5	-0.300	-0.216
質8 他の子に比べて遊ぶことが多い	201	2.801	1.154	1.074	38.359	563	1	5	0.137	-0.821	198	3.010	1.162	1.078	35.804	596	1	5	0.174	-0.529
質9 自分の思いを押し出す	201	2.741	1.227	1.108	40.401	551	1	5	0.150	-0.783	198	2.455	1.329	1.153	46.962	486	1	5	0.299	-0.916
質10 マスター役になることが多い	201	2.244	1.299	1.140	50.791	451	1	5	0.703	-0.348	198	2.273	1.279	1.131	49.764	450	1	5	0.603	-0.477
質11 一人で遊ぶのが好き	201	2.328	1.295	1.138	48.878	468	1	5	0.629	-0.407	198	1.955	0.902	0.950	48.590	387	1	5	0.727	-0.124
質12 他の子に命を合することが多い	201	2.408	1.376	1.178	48.712	484	1	5	0.481	-0.724	198	2.232	1.249	1.118	50.065	442	1	5	0.706	-0.294
質13 先生にまともな声かけが多い	201	2.388	1.501	1.225	51.396	480	1	5	0.398	-0.998	198	1.813	0.748	0.865	47.697	359	1	5	1.023	0.737
質14 先生に怒られることが多い	201	2.383	1.391	1.179	49.883	479	1	5	0.535	-0.643	198	2.242	1.295	1.138	50.743	444	1	5	0.668	-0.433
質15 1人としていたいことが多い	201	2.363	1.674	1.294	54.751	475	1	5	0.337	-1.317	198	2.136	1.158	1.076	50.375	423	1	5	0.481	-0.882
質16 ルールが明確な遊びを好む	201	3.224	0.850	0.922	28.604	618	1	5	-0.533	-0.603	198	2.813	1.334	1.155	41.053	557	1	5	-0.065	-0.586
質17 他の子に命を合されることが多い	201	2.214	0.815	0.903	40.775	445	1	5	0.419	-0.373	198	2.217	0.928	0.963	43.439	439	1	5	0.641	0.206
質18 遊びの中でトラブルをよく起こす	201	2.134	1.360	1.166	54.641	429	1	5	0.754	-0.487	198	2.409	1.211	1.101	45.687	477	1	5	0.345	-0.820
質19 いつもよく遊ぶ友達の数	201	2.692	1.198	1.095	40.672	541	0	5	-0.278	0.015	198	3.510	1.290	1.136	32.361	695	0	5	-0.552	0.073

表4 教師A得点－保護者G得点の運動能力関連評価および群れ遊び調査の群間比較

運動能力合計点	年中児						年長児						
	群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	4149.5	98.798	0.627	2	0.731	18	1663.0	92.389	1.174	2	0.556	
2 教師=保護者	82	8061.0	98.305				83	7964.5	95.958				
3 教師>保護者	77	8090.5	105.071				97	10073.5	103.851				
運動能力評価点	群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	3926.5	93.488	1.463	2	0.481	18	1598.5	88.806	2.786	2	0.248	
2 教師=保護者	82	8466.5	103.250				83	7911.5	95.319				
3 教師>保護者	77	7908.0	102.701				97	10191.0	105.062				
総合評価点	群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	3753.5	89.369	8.343	2	0.015 *	18	1125.5	62.528	13.986	2	0.001 **	
2 教師=保護者	82	7772.5	94.787				83	8260.0	99.518				
3 教師>保護者	77	8775.0	113.961				97	10315.5	106.345				
質1 外遊びが好き	群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	3305.5	78.702	22.961	2	0.000 ***	18	1352.0	75.111	8.483	2	0.014 *	
2 教師=保護者	82	7440.0	90.738				83	7687.5	92.620				
3 教師>保護者	77	9555.0	124.091				97	10661.5	109.912				
質2 遊ぶ友達はいつも同じである	群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	4373.0	104.119	1.303	2	0.521	18	2018.5	112.139	1.168	2	0.558	
2 教師=保護者	82	7858.0	95.829				83	8104.5	97.645				
3 教師>保護者	77	8070.0	104.805				97	9578.0	98.742				
質3 ルールが明確な遊びを好む	群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	2830.0	67.381	27.541	2	0.000 ***	18	1134.0	63.000	11.568	2	0.003 **	
2 教師=保護者	82	8004.5	97.616				83	7980.5	96.151				
3 教師>保護者	77	9466.5	122.942				97	10586.5	109.139				
質4 チームで協力する遊びを好む	群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	3162.5	75.298	16.176	2	0.000 ***	18	1287.0	71.500	10.377	2	0.006 **	
2 教師=保護者	82	8068.5	98.396				83	7670.5	92.416				
3 教師>保護者	77	9070.0	117.792				97	10743.5	110.758				

質5 友達との意思の疎通が難しい												
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	5164.0	122.952	14.711	2	0.001 **	18	2243.5	124.639	6.342	2	0.042 *
2 教師=保護者	82	8706.5	106.177				83	8611.5	103.753			
3 教師>保護者	77	6430.5	83.513				97	8846.0	91.196			
質6 友達と遊ぶのが好き												
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	3595.0	85.595	11.576	2	0.003 **	18	1578.5	87.694	3.995	2	0.136
2 教師=保護者	82	7737.0	94.354				83	7760.0	93.494			
3 教師>保護者	77	8969.0	116.481				97	10362.5	106.830			
質7 内遊びが好き												
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	5294.5	126.060	13.627	2	0.001 **	18	2267.5	125.972	4.757	2	0.093
2 教師=保護者	82	8276.5	100.933				83	7958.0	95.880			
3 教師>保護者	77	6730.0	87.403				97	9475.5	97.686			
質8 他の子に付いて遊ぶことが多い												
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	4812.0	114.571	8.397	2	0.015 *	18	2029.0	112.722	1.247	2	0.536
2 教師=保護者	82	8799.5	107.311				83	8265.5	99.584			
3 教師>保護者	77	6689.5	86.877				97	9406.5	96.974			
質9 自分の言い分を押し通す												
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	5293.0	126.024	11.463	2	0.003 **	18	2296.5	127.583	7.946	2	0.019 *
2 教師=保護者	82	8087.0	98.622				83	8656.5	104.295			
3 教師>保護者	77	6921.0	89.883				97	8748.0	90.186			
質10 リーダー役になることが多い												
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	4831.5	115.036	3.914	2	0.141	18	1568.0	87.111	0.998	2	0.607
2 教師=保護者	82	7714.5	94.079				83	8359.0	100.717			
3 教師>保護者	77	7755.0	100.714				97	9773.5	100.758			
質11 一人で遊ぶのが好き												
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	4710.5	112.155	6.664	2	0.036 *	18	1892.0	105.111	1.212	2	0.546
2 教師=保護者	82	8793.0	107.232				83	8574.0	103.301			
3 教師>保護者	77	6797.5	88.279				97	9235.0	95.206			
質12 他の子に命令することが多い												
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	5367.5	127.798	12.219	2	0.002 **	18	1897.0	105.389	5.792	2	0.055
2 教師=保護者	82	7851.0	95.744				83	9076.5	109.355			
3 教師>保護者	77	7082.5	91.981				97	8727.5	89.974			
質13 先生にまわり付くことが多い												
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	5794.5	137.964	25.881	2	0.000 **	18	2063.0	114.611	4.988	2	0.083
2 教師=保護者	82	8097.5	98.750				83	8785.0	105.843			
3 教師>保護者	77	6409.0	83.234				97	8853.0	91.268			
質14 マイルールを持ち出す												
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	5127.0	122.071	8.131	2	0.017 *	18	2320.0	128.889	10.277	2	0.006 **
2 教師=保護者	82	8117.0	98.988				83	8807.5	106.114			
3 教師>保護者	77	7057.0	91.649				97	8573.5	88.387			
質15 ぼーっとしていることがある												
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	5984.0	142.476	42.093	2	0.000 **	18	2343.0	130.167	9.050	2	0.011 *
2 教師=保護者	82	8640.0	105.366				83	8623.0	103.892			
3 教師>保護者	77	5677.0	73.727				97	8735.0	90.052			
質16 ルールが単純な遊びを好む												
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	3179.5	75.702	11.648	2	0.003 **	18	1946.0	108.111	0.538	2	0.764
2 教師=保護者	82	8680.5	105.860				83	8263.5	99.560			
3 教師>保護者	77	8441.0	109.623				97	9491.5	97.851			
質17 他の子に命令されることが多い												
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	5340.0	127.143	14.416	2	0.001 **	18	2232.0	124.000	6.077	2	0.048 *
2 教師=保護者	82	8249.0	100.598				83	8575.5	103.319			
3 教師>保護者	77	6712.0	87.169				97	8893.5	91.686			
質18 遊びの中でトラブルをよく起こす												
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	4758.0	113.286	3.219	2	0.200	18	2018.5	112.139	3.304	2	0.192
2 教師=保護者	82	8291.5	101.116				83	8711.5	104.958			
3 教師>保護者	77	7251.5	94.175				97	8971.0	92.485			
質19 いつもよく遊ぶ友達を教												
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1 教師<保護者	42	4628.0	110.190	2.056	2	0.358	18	1485.5	82.528	4.821	2	0.090
2 教師=保護者	82	7811.0	95.256				83	7768.0	93.590			
3 教師>保護者	77	7862.0	102.104				97	10447.5	107.706			

表5 教師B得点－保護者H得点の運動能力関連評価および群れ遊び調査の群間比較

		年中児						年少児					
運動能力合計点		標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1	教師<保護者	99	9066.0	91.576	6.373	2	0.041	73	6886.0	94.329	2.540	2	0.281
2	教師=保護者	95	10307.0	108.495				118	12281.0	104.076			
3	教師>保護者	7	928.0	132.571				7	534.0	76.286			
運動能力評価点		標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1	教師<保護者	99	9353.0	94.475	5.849	2	0.054	73	7219.5	98.897	0.548	2	0.760
2	教師=保護者	95	10041.0	105.695				118	11873.0	100.619			
3	教師>保護者	7	907.0	129.571				7	608.5	86.929			
総合評価点		標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1	教師<保護者	99	8533.0	86.192	16.672	2	0.000	73	6274.5	85.952	10.192	2	0.006 *
2	教師=保護者	95	10890.5	114.637				118	12663.5	107.318			
3	教師>保護者	7	877.5	125.357				7	763.0	109.000			
質1 外遊びが好き		標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1	教師<保護者	99	7901.0	79.808	29.865	2	0.000	73	5493.5	75.253	23.650	2	0.000
2	教師=保護者	95	11384.0	119.832				118	13293.0	112.653			
3	教師>保護者	7	1016.0	145.143				7	914.5	130.643			
質2 遊ぶ友達はいつも同じである		標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1	教師<保護者	99	9822.0	99.212	0.88	2	0.644	73	7610.5	104.253	0.976	2	0.614
2	教師=保護者	95	9649.0	101.568				118	11435.5	96.911			
3	教師>保護者	7	830.0	118.571				7	655.0	93.571			
質3 ルールが明確な遊びを好む		標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1	教師<保護者	99	8343.0	84.273	19.406	2	0.000	73	5992.5	82.089	13.603	2	0.001 *
2	教師=保護者	95	10945.5	115.216				118	12762.0	108.153			
3	教師>保護者	7	1012.5	144.643				7	946.5	135.214			
質4 チームで協力する遊びを好む		標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1	教師<保護者	99	8196.5	82.793	20.955	2	0.000	73	6412.5	87.842	5.395	2	0.067
2	教師=保護者	95	11246.0	118.379				118	12510.0	106.017			
3	教師>保護者	7	858.5	122.643				7	778.5	111.214			
質5 友達との意思の疎通が難しい		標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1	教師<保護者	99	12223.5	123.470	32.186	2	0.000	73	8131.0	111.384	5.506	2	0.064
2	教師=保護者	95	7640.5	80.426				118	10988.0	93.119			
3	教師>保護者	7	437.0	62.429				7	582.0	83.143			
質6 友達と遊ぶのが好き		標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1	教師<保護者	99	8555.5	86.419	16.623	2	0.000	73	7003.0	95.932	0.591	2	0.744
2	教師=保護者	95	10767.5	113.342				118	12014.0	101.814			
3	教師>保護者	7	978.0	139.714				7	684.0	97.714			
質7 内遊びが好き		標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1	教師<保護者	99	10285.0	103.889	1.702	2	0.427	73	7853.5	107.582	3.658	2	0.161
2	教師=保護者	95	9478.5	99.774				118	11038.0	93.542			
3	教師>保護者	7	537.5	76.786				7	809.5	115.643			
質8 他の子に付いて遊ぶことが多い		標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1	教師<保護者	99	12158.0	122.808	29.566	2	0.000	73	8168.5	111.897	9.503	2	0.009 *
2	教師=保護者	95	7569.0	79.674				118	10618.0	89.983			
3	教師>保護者	7	574.0	82.000				7	914.5	130.643			
質9 自分の言い分を押し通す		標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1	教師<保護者	99	10542.5	106.490	2.101	2	0.350	73	7351.0	100.699	1.010	2	0.604
2	教師=保護者	95	9018.0	94.926				118	11798.0	99.983			
3	教師>保護者	7	740.5	105.786				7	552.0	78.857			
質10 リーダー役になることが多い		標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値
1	教師<保護者	99	9496.0	95.919	2.634	2	0.268	73	6076.5	83.240	10.407	2	0.006 **
2	教師=保護者	95	9919.5	104.416				118	12947.5	109.725			
3	教師>保護者	7	885.5	126.500				7	677.0	96.714			

質11 一人で遊ぶのが好き											
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	p値
1 教師<保護者	99	11839.0	119.586	22.537	2	0.000 ***	73	7583.5	103.884	2.256	2 0.324
2 教師=保護者	95	8025.5	84.479				118	11268.5	95.496		
3 教師>保護者	7	436.5	62.357				7	849.0	121.286		

質12 他の子に命令することが多い											
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	p値
1 教師<保護者	99	10389.5	104.944	1.543	2	0.462	73	7382.5	101.130	2.692	2 0.260
2 教師=保護者	95	9121.5	96.016				118	11856.0	100.475		
3 教師>保護者	7	790.0	112.857				7	462.5	66.071		

質13 先生にまともな付くことが多い											
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	p値
1 教師<保護者	99	10895.0	110.051	5.506	2	0.064	73	7268.5	99.568	1.314	2 0.518
2 教師=保護者	95	8662.0	91.179				118	11892.5	100.784		
3 教師>保護者	7	744.0	106.286				7	540.0	77.143		

質14 マイルールを持ち出す											
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	p値
1 教師<保護者	99	10401.0	105.061	1.027	2	0.599	73	7667.5	105.034	4.578	2 0.101
2 教師=保護者	95	9234.5	97.205				118	11621.0	98.483		
3 教師>保護者	7	665.5	95.071				7	412.5	58.929		

質15 ぼーっとしていることがある											
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	p値
1 教師<保護者	99	13116.0	132.485	62.674	2	0.000 ***	73	8365.5	114.596	8.953	2 0.011 *
2 教師=保護者	95	6800.0	71.579				118	10640.5	90.174		
3 教師>保護者	7	385.0	55.000				7	695.0	99.286		

質16 ルールが単純な遊びを好き											
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	p値
1 教師<保護者	99	9408.0	95.030	2.754	2	0.252	73	6559.0	89.849	8.287	2 0.016 *
2 教師=保護者	95	10056.5	105.858				118	12103.5	102.572		
3 教師>保護者	7	836.5	119.500				7	1038.5	148.357		

質17 他の子に命令されることが多い											
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	p値
1 教師<保護者	99	12158.0	122.808	31.262	2	0.000 ***	73	8123.5	111.281	5.443	2 0.066
2 教師=保護者	95	7681.0	80.853				118	10918.5	92.530		
3 教師>保護者	7	462.0	66.000				7	659.0	94.143		

質18 遊びの中でトラブルをよく起こす											
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	p値
1 教師<保護者	99	10284.5	103.884	1.191	2	0.551	73	7557.5	103.527	1.473	2 0.479
2 教師=保護者	95	9213.5	96.984				118	11595.5	98.267		
3 教師>保護者	7	803.0	114.714				7	548.0	78.286		

質19 いつもよく遊ぶ友達の数											
群	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	自由度	p値	標本数	順位和	平均順位	カイ2乗値	p値
1 教師<保護者	99	9644.5	97.419	2.674	2	0.263	73	6236.0	85.425	7.574	2 0.023 *
2 教師=保護者	95	9731.5	102.437				118	12730.0	107.881		
3 教師>保護者	7	925.0	132.143				7	735.0	105.000		

群間比較の結果から、有意差があった項目での対比較を行った結果を一覧にしたものが表6である。表中の「1<3」は1群よりも3群の数値が高いことを示し、「1<2<3」は1群よりも2群、2群よりも3群の差が大きいことを示している。いずれも対比較において統計的に有意なものだけを記載した。

運動能力評価点で有意差がみられたのは年中児の「教師B得点-保護者H得点」であった。2群(教師=保護者)の方が、1群(教師<保護者)よりも運動能力が高い結果となった。また、年中児、年長児とも、行動特性評価を含んだ総合評価点は「教師A得点-保護者G得点」「教師B得点-保護者H得点」のいずれにおいても1群(教師<保護者)が低く、2群(教師=保護者)あるいは3群(教師>保護者)との間で統計

的な有意差が確認できた。

「教師A得点-保護者G得点」はがんばり指数における教師と保護者の評価の差であり、「教師B得点-保護者H得点」はほがらか指数における差である。行動特性の簡易判定図を示したものが図1¹⁶⁾であるが、得点差が大きい場合、たとえば保護者は行動型だと思っているが、教師はがんばり不足型あるいはひっそり型であると判断している可能性がある。今回、保護者の評価点が高いほど子どもの行動特性を含んだ総合評価点が低い結果が得られているが、これは保護者が我が子の様子を過大に評価している傾向があることを示唆していると考えられる。

表6 教師A得点－保護者G得点別、教師B得点－保護者H得点別の運動能力関連評価および群れ遊び調査の対比較結果

項目名	年中児		年長児	
	教師A得点－ 保護者G得点 がんばり指数	教師B得点－ 保護者H得点 ほがらか指数	教師A得点－ 保護者G得点 がんばり指数	教師B得点－ 保護者H得点 ほがらか指数
運動能力合計点	1<2			
運動能力評価点				
総合評価点	1<3、2<3	1<2	1<2、1<3	1<2
質1 外遊びが好き	1<3、2<3	1<2、1<3	1<3、2<3	1<2、1<3
質2 遊ぶ友達はいつも同じである				
質3 ルールが明確な遊びを好む	1<2<3	1<2、1<3	1<2、1<3	1<2、1<3
質4 チームで協力する遊びを好む	1<2<3	1<2	1<3、2<3	
質5 友達との意思の疎通が難しい	1>3、2>3	1>2、1>3	1>3	
質6 友達と遊ぶのが好き	1<3、2<3	1<2、1<3		
質7 内遊びが好き	1>2、1>3			
質8 他の子に付いて遊ぶことが多い	1>3、2>3	1>2		1>2
質9 自分の言い分を押し通す	1>2、1>3		1>3	
質10 リーダー役になることが多い				1<2
質11 一人で遊ぶのが好き	1>3、2>3	1>2、1>3		
質12 他の子に命令することが多い	1>2、1>3			
質13 先生にまわり付くことが多い	1>2、1>3			
質14 マイルールを持ち出す	1>2、1>3		1>3、2>3	
質15 ぼーっとしていることがある	1>2>3	1>2、1>3	1>3	1>2
質16 ルールが単純な遊びを好む	1<2、1<3			1<3、2<3
質17 他の子に命令されることが多い	1>2、1>3	1>2、1>3	1>3	
質18 遊びの中でトラブルをよく起こす				
質19 いつもよく遊ぶ友達の数				1<2

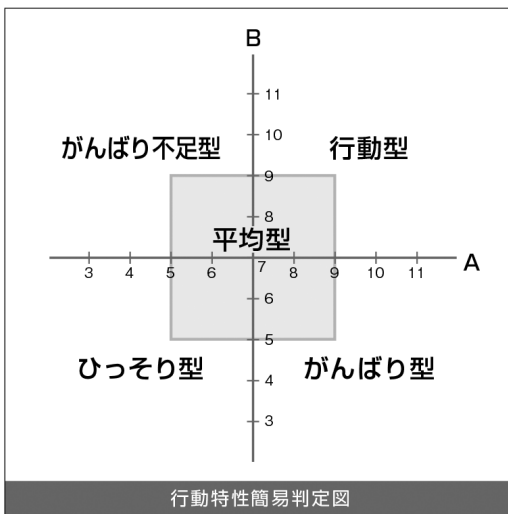


図1 行動特性簡易判定図¹⁶⁾

群れ遊び調査で有意差がみられたのは、年中児では質問1「外遊びが好き」、質問3「ルールが明確な遊びを好む」、質問4「チームで協力する遊びを好む」、質問5「友達との意思の疎通が難しい」、質問6「友達と遊ぶのが好き」、質問7「内遊びが好き」（がんばり指数のみ）、質問8「他の子に付いて遊ぶことが多い」（がんばり指数のみ）、質問9「自分の言い分を押し通す」（がんばり指数のみ）、質問11「一人で遊ぶのが好き」、質問12「他の子に命令することが多い」（がんばり指数のみ）、質問13「先生にまわり付くことが多い」（がんばり指数のみ）、質問14「マイルールを持ち出す」（がんばり指数のみ）、質問15「ぼーっとしていることがある」、質問16「ルールが単純な遊びを好む」（がんばり指数のみ）、質問17「他の子に命令されることが多い」であった。一方、有意差がみられなかった項目としては、質問2「遊ぶ友達はい

つも同じである」、質問10「リーダー役になることが多い」、質問18「遊びの中でトラブルをよく起こす」、質問19「いつもよく遊ぶ友達の数」であった。

年長児では質問1「外遊びが好き」、質問3「ルールが明確な遊びを好む」、質問4「チームで協力する遊びを好む」（がんばり指数のみ）、質問5「友達との意思の疎通が難しい」（がんばり指数のみ）、質問8「他の子に付いて遊ぶことが多い」（ほがらか指数のみ）、質問9「自分の言い分を押し通す」（がんばり指数のみ）、質問10「リーダー役になることが多い」（ほがらか指数のみ）、質問14「マイルールを持ち出す」（がんばり指数のみ）、質問15「ぼーっとしていることがある」、質問16「ルールが単純な遊びを好む」（ほがらか指数のみ）、質問17「他の子に命令されることが多い」（がんばり指数のみ）、質問19「いつもよく遊ぶ友達の数」であった。一方、有意差がみられなかった項目としては、質問2「遊ぶ友達はいつも同じである」、質問6「友達と遊ぶのが好き」、質問7「内遊びが好き」、質問11「一人で遊ぶのが好き」、質問12「他の子に命令することが多い」、質問13「先生にまわり付くことが多い」、質問18「遊びの中でトラブルをよく起こす」であった。

総括すると、「教師A得点－保護者G得点」「教師B得点－保護者H得点」いずれも子どもに対する評価が「教師<保護者」（1群）のグループは「教師＝保護者」（2群）や「教師>保護者」（3群）のグループよりも群れ遊びに関してはネガティブな傾向があることが伺える。とくに質問1「外遊びが好き」、質問3「ルールが明確な遊びを好む」では年中児、年長児ともに「教師A得点－保護者G得点」「教師B得点－保護者H得点」で有意な差がみられた。また、質問15「ぼーっとしていることがある」も同様に、年中児、年長児とも「教師A得点－保護者G得点」「教師B得点－保護者H得点」で有意差がみられ、1群は2群あるいは3群と比較してこの傾向が顕著であることが伺える。

子どもに対する評価の厳しさ、優しさの傾向は、保護者であれば養育態度という評価尺度があり、そちらから判断することが可能である。しかしながら、今回

の比較は、教師と保護者の評価の違いに着目したものであり、養育態度の類型とは関係なく、教師と保護者の評価に大きな食い違いがある場合は、教師が園内での群れ遊び活動において問題を含んでいると子どもを評価していることが指摘できる。教師は保護者と異なり、複数の子どもの様子を比較しながら評価することができるため、保護者に比べてより客観的に評価を行っていると考えられるが、今回の結果はそのことも示唆しているといえよう。

「教師A得点－保護者G得点」と「教師B得点－保護者H得点」との比較では、「教師A得点－保護者G得点」の方がより群れ遊びの調査項目と統計的な有意差が確認された項目が多いが、運動能力評価点（年中児のみ）や質問10「リーダー役になることが多い」、質問19「いつもよく遊ぶ友達の数」（いずれも年長児のみ）では「教師B得点－保護者H得点」においてのみ統計的な有意差が確認できた。

先行研究によると、保護者は教師よりも子どものがんばり度を低く評価する傾向があり、年長児になるとさらにながらんで欲しいと期待するためかがんばり指数の数値が下がる傾向がある^{1,2)}。しかしながら、本研究での1群（教師<保護者）は教師よりもがんばり度を高く評価するグループであり、その評価は過大評価といえる可能性がある。今回の結果から、総合評価点と同様に、教師に比較して子どものがんばりを高めに評価する保護者と、教師によって群れ遊びにネガティブであると評価される子どもの間には関連性があるといえるのではなかろうか。

今回は教師と保護者の子どもに対する行動特性評価点の差を中心に分析を行ったが、群れ遊び調査は教師が評価しているものであり、保護者よりも教師の評価が低い1群がネガティブな評価となっているのは当然であるといえるかもしれない。しかしながら、1群（教師<保護者）が他の群に比較して総合評価点が低いことを考慮すると、他の子と比較しながらの評価をする教師の目には意味があろう。すなわち、保護者による養育態度調査を通じて得られた子どもの行動特性評価と、教師による行動特性評価の比較をすることは、

子どもの様子を判断する情報として有効である。教師と保護者の評価点がまったく同じになる必要はないが、評価の類型結果が食い違う場合は、子どもの様子を再確認する必要があるのではなからうか。

結論

本研究では、教師と保護者が評価した行動特性評価点の差異について、群れ遊び調査の結果と関連性があることが確認できた。両者の評価が大きく食い違っている場合は、子どもが園内での群れ遊び活動においてネガティブな評価を得ているといえる。教師よりも保護者の方がポジティブな評価が高い場合、子どもは群れ遊びにおいてネガティブな活動をしていると教師に評価されている。

註

1. 原田碩三『“群れ遊び”のすすめ』黎明書房、1990。
2. 原田碩三『押しくらまんじゅう花いちもんめ』農文協、1991。
3. 原田碩三・徳田泰伸編『保育の実践』北大路書房、1992。
4. 原田碩三『新版幼児健康学』黎明書房、1997。
5. 明星幼稚園・しらゆり幼稚園・美作大学附属幼稚園「調和のとれた心と体の発達を目指して～群れ遊びを通じた取り組み～」平成 21 年度全日本私立幼稚園連合会中国地区私立幼稚園教育研修会岡山大会、2009。
6. 拙論「幼児期の運動能力と群れ遊びの関係について」『美作大学・美作大学短期大学部紀要』第 56 号、55～63 頁、2011。
7. 拙論「子どもの群れ遊びと運動能力・行動特性の関係について」日本乳幼児教育学会第 21 回大会、2011。
8. 拙論「幼児期の運動能力と群れ遊びの関係について(2)」『美作大学・美作大学短期大学部紀要』第 57 号、27～34 頁、2012。
9. 拙論「子どもの群れ遊びと行動特性の関係について」日本乳幼児教育学会第 22 回大会、2012。
10. 拙論「幼児期の運動能力と群れ遊びの関係について(3)」『美作大学・美作大学短期大学部紀要』第 58 号、41～45 頁、2013。
11. 拙論「子どもの群れ遊びと行動特性の関係について～共分散構造分析をもとに～」日本乳幼児教育学会第 23 回大会、2013。
12. 拙論「子どもの群れ遊びと運動能力、行動特性、養育態度との関係について～第 1 次調査結果の集計報告～」『美作大学・美作大学短期大学部紀要』第 59 号、79～91 頁、2014。
13. 原田碩三『新版幼児健康学』黎明書房、201～203 頁、1997。
14. 原田昭子他「幼児の体格・運動能力の評価改訂について」『教育医学』第 44 巻 4 号、629～643 頁、1999。
15. 原田昭子他「WEB 上での幼児の体格・運動能力評価・判定」『教育医学』第 50 巻 1 号、72～73 頁、2004。
16. 原田碩三『新版幼児健康学』黎明書房、203～204 頁、1997。
17. 適性科学研究センター「IB 式 MP 親子関係診断検査」、1978。

